

11月9日に静岡県包装研究会

(静岡通信) 日本包装技術協会は十一月九日午後一時〜四時十五分、JR静岡駅前の静岡駅パルシェ会議室七階で「平成二十四年度静岡県包装研究会」を行なう。野村総合研究所上級コンサルタントの森川健氏が「インドの物流事情とビジネスチャンス」、王子コンテナ技術本部の緒方誠基氏が「ベトナムにおける段ボール事業」をテーマにそれぞれ講演する。参加費は会員および静岡県紙パルプ技術協会員は無料、一般三、一五〇円(講演)。定員八〇人。問合せは☎〇三―三五四三―一一八九。

新興エンジンヤがドクターなど好調

(静岡通信) 紙・パルプ機械製作メンテナンスの新興エンジンヤ(富士市石坂九五、小野秀樹社長)は、ドクター装置、自動ガイド装置、液面制御装置が受注好調だ。またこのほど西日本の製紙工場に納入した白水回收装置が順調に稼動しており、歩留向上に

成果を上げている。このほか製紙関連以外でも同社の技術力が注目されており、魚業協同組合向けに自走式全自動計量機の納入も決まっている。

越前和紙の里で紙博テーマ展

(北陸通信) 越前和紙の里・紙の文化博物館で平成二十四年度紙博テーマ展Ⅳ「かみがみのはなし」展覧会を開催している。卯立の工芸館企画展「越前の手仕事」展の関連。入場料大人二〇〇円、小人一〇〇円。会期は十二月九日まで。

小川町で工芸の里まつり

(東京通信) 埼玉伝統工芸協会は十一月三日〜四日、埼玉県比企郡小川町の埼玉伝統工芸会館で「秋・工芸の里まつり」を開く。三日には小川和紙の製作工程のひとつ「楮かしき」や「紙干し」などを会館前広場で実演する。カズむき(楮をかすと称する「楮の黒皮剥ぎ」)体験もできる。



と

判断・行動・決断力求められる支社

(九州通信) 十月から白板紙、包装用紙事業が王子マテリアに移行し、一人から七人体制に。「エリアは



信頼をより得るために「代理店との協力を密にし、ユーザーと顔を突き合わせ、お互いに情報を交換できる関係の構築が必要」と語る。

現在、福岡に単身赴任中。仙台に住む息子と娘がサッカークラブに所属していることもあり、自身も審判免許を取得。「先日仙台に帰った時も試合で笛を吹いた」と真つ黒に焼けた顔で笑う。趣味はスポーツ、読書。昭和四十年五月生まれの四七歳。兵庫県川西市出身。

王子製紙九州営業支社長 塚本 恭一氏

業支社長の塚本恭一氏。昭和六十三年関西学院大学商学部卒業後、神崎製紙に入社。事務用紙

部から富岡工場操業管理課に。本社印刷用紙部、洋紙企画部を経て東北営業支社。再度本社印刷用紙部から昨年十月に九州営業支社へ。今年六月から支社長。

広いが少人数のため、各自の判断、行動力、決断力が求められる」と厳しい環境ながらも各自が力を発揮しやすい支社という。今後ユーザーの

ドライヤーキャンパスを通じ、製紙業界の発展に貢献します



日本キャンパス株式会社

本社工場/〒939-1438 富山県砺波市安川284番地 TEL (0763) 37-1110代 FAX (0763) 37-8118

抄紙、加工トラブルの解消に
ピッチ、スティッキーコントロール剤

再生紙由来の粘着性防止剤

内添用 **ディタック**

が新技術により
さらに進化しました

●ソフトール (パルプ用ピッチコントロール剤)

(旧ニチユソリユーション(株))



YUKA SANGYO

油化産業(株)ソリユーション事業部

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート7階

TEL: 03-5793-1448 FAX: 03-5793-1480

URL <http://www.yuka-sangyo.co.jp/>